

あいち森と緑づくり事業
アンケート結果

<法人アンケート>

令和5年1月

愛知県

調査概要

目次

調査概要

1 調査の概要.....2
2 この報告書のみかた.....3

調査結果

I 森と緑の働きについて.....6
（1）森と緑の重要な働き.....6
（2）健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性.....7
II 「あいち森と緑づくり事業」について.....8
（1）取組の必要性.....8
（2）取組の継続.....11
III 「あいち森と緑づくり事業」の今後について.....14
（1）「あいち森と緑づくり事業」の継続.....14
（2）「あいち森と緑づくり税」の負担額.....14
（3）「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組.....15

調査票

1 調査の概要

(1) 調査の目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、法人の事業に対する有効性・満足度・今後の期待度等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) 調査の項目

- I. 森と緑の働きについて
- II. 「あいち森と緑づくり事業」について
- III. 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県
- ② 調査対象 県内に本社を有する法人事業者
- ③ 標本数 200
- ④ 抽出方法 国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の法人から等間隔抽出法により抽出。
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 令和4年10月21日～11月4日

(4) 調査委託先

株式会社中部タイム・エージェント 名古屋事務所

(5) 回収結果

- ① 標本数 200
- ② 回収数 58 (有効回答率：29.0%)

(6) 調査対象者の属性

【資本金等の額】							(件)	
50億円超	10億円超 50億円以下	1億円超 10億円以下	1千万円超 1億円以下	左記以外の 法人	非課税	無回答		
0	0	5	18	29	0	6		

2 この報告書のみかた

- 回答率 (%) は、小数第2位を四捨五入したため、合計が 100%にならない場合がある。また、小計についても同様に異なる場合がある。
- 1 法人の対象者に複数の回答を認めたものについては、その項目を選んだ法人が回答者全体に占める割合を表しており、通常その比率の合計は 100%を超える。
- 調査結果については、統計上多少の誤差（標本誤差）が生じることがあり、調査結果をみる場合には、次のような一定の幅をもたせてみる必要がある。
- 標本誤差は、次の式で算出される。

$$\text{標本誤差 (\%)} = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$$

P: 回答率 (%)
N: 回答者数 (法人)

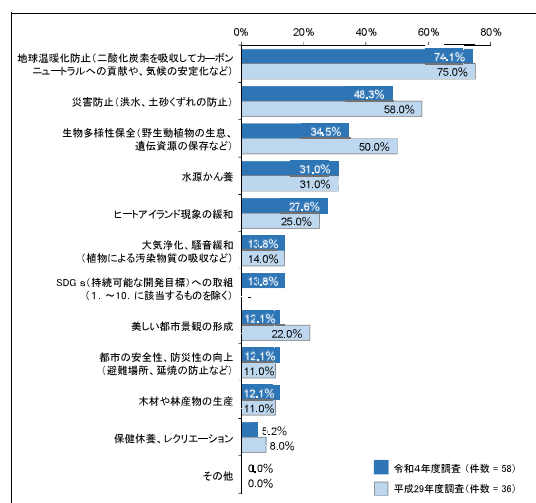
法人-3

調査結果

I 森と緑の働きについて

(1) 森と緑の重要な働き

問1 森や緑の働きや期待する役割の中で、どのような働きや役割が重要だと思いますか。（3つまで〇で選んでください）



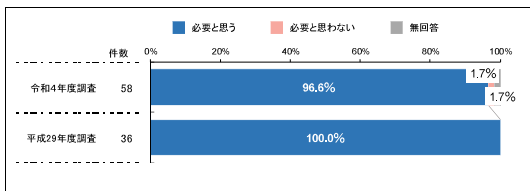
森と緑の重要な働きについて、「地球温暖化防止（二酸化炭素を吸収してカーボンニュートラルへの貢献や、気候の安定化など）」と答えた法人の割合が 74.1%と最も高く、続いて「災害防止（洪水、土砂すれの防止）」（48.3%）、「生物多様性保全（野生動植物の生息、遺伝資源の保存など）」（34.5%）の順となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「地球温暖化防止（二酸化炭素を吸収してカーボンニュートラルへの貢献や、気候の安定化など）」と答えた法人の割合が最も高くなっている。

法人-6

(2) 健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性

問2 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。



健全な森や緑を後世に引き継ぐことについて、「必要と思う」と答えた法人の割合が96.6%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は1.7%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「必要と思う」と答えた法人の割合が非常に高くなっている。

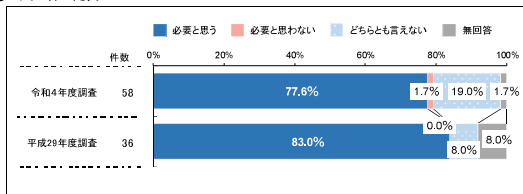
法人-7

II 「あい森と緑づくり事業」について

(1) 取組の必要性

問3 森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備・保全するための以下の取組について、必要だと思いますか。

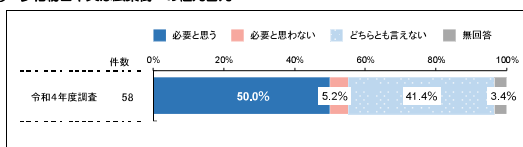
① 人工林の間伐



人工林の間伐について、「必要と思う」と答えた法人の割合が77.6%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は1.7%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「必要と思う」と答えた法人の割合が8割程度と高くなっている。

② 少花粉苗木又は広葉樹への植え替え

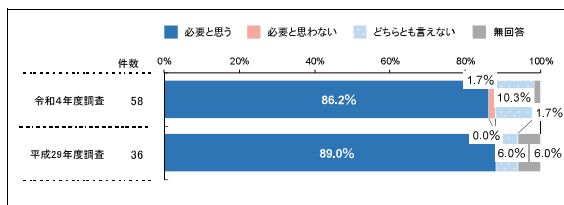


少花粉苗木又は広葉樹への植え替えについて、「必要と思う」と答えた法人の割合が50.0%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は5.2%となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

法人-8

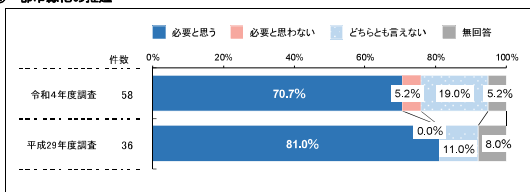
③ 里山林の整備



里山林の整備について、「必要と思う」と答えた法人の割合が86.2%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は1.7%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「必要と思う」と答えた法人の割合が8割を超えて高くなっている。

④ 都市緑化の推進

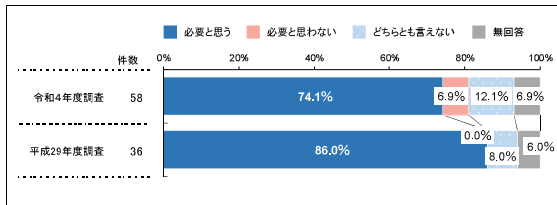


都市緑化の推進について、「必要と思う」と答えた法人の割合が70.7%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は5.2%となっている。

過去の調査と比較すると、「必要と思う」と答えた法人の割合が平成29年度(81.0%)と比べて減少の傾向がみられる。

法人-9

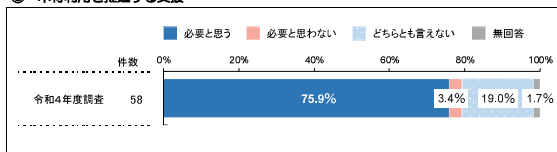
⑤ 環境活動・環境学習の推進



環境活動・環境学習の推進について、「必要と思う」と答えた法人の割合が74.1%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は6.9%となっている。

過去の調査と比較すると、「必要と思う」と答えた法人の割合が平成29年度(86.0%)に比べて減少の傾向がみられる。

⑥ 木材利用を推進する支援



木材利用を推進する支援について、「必要と思う」と答えた法人の割合が75.9%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた法人の割合は3.4%となっている。

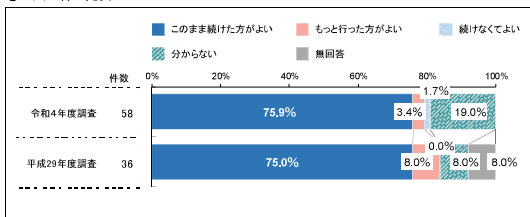
※この項目は、令和4年度から追加した。

法人-10

(2) 取組の継続

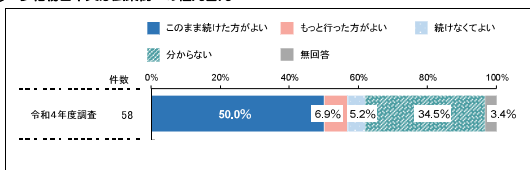
問4 本県では、第2期事業で2019（令和元）年度から「あい森と緑づくり税」を活用し、以下の取組を行っています。これらの取組を今後も続けた方がよいと思いますか。

① 人工林の間伐



人工林の間伐の継続について、「このまま続けた方がよい」（75.9%）と「もっと行った方がよい」（3.4%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が79.3%となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「このまま続けた方がよい」と答えた法人の割合が高くなっている。

② 少花粉苗木又は広葉樹への植え替え

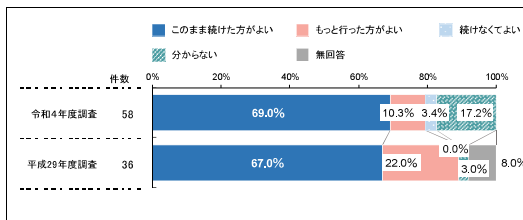


少花粉苗木又は広葉樹への植え替えの継続について、「このまま続けた方がよい」（50.0%）と「もっと行った方がよい」（6.9%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が56.9%となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

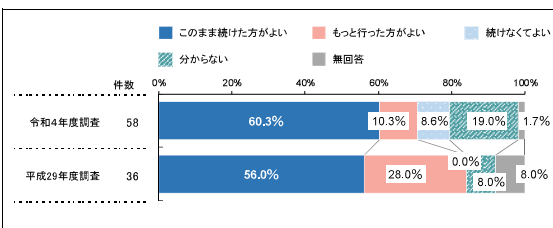
法人-11

③ 里山林の整備



里山林の整備の継続について、「このまま続けた方がよい」（69.0%）と「もっと行った方がよい」（10.3%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が79.3%となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「このまま続けた方がよい」と答えた法人の割合が高くなっている。

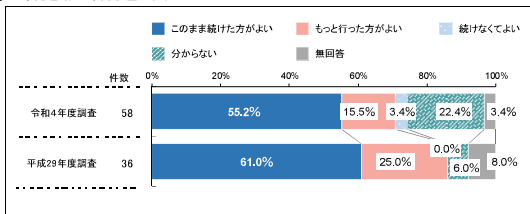
④ 都市緑化の推進



都市緑化の推進の継続について、「このまま続けた方がよい」（60.3%）と「もっと行った方がよい」（10.3%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が70.6%となっている。過去の調査と比較すると、「続けなくてよい」と答えた法人の割合が平成29年度（0%）と比べて増加の傾向がみられる。

法人-12

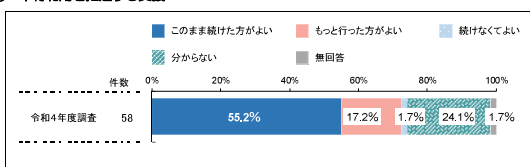
⑤ 環境活動・環境学習の推進



環境活動・環境学習の推進の継続について、「このまま続けた方がよい」（55.2%）と「もっと行った方がよい」（15.5%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が70.7%となっている。

過去の調査と比較すると、「続けた方がよい」と答えた法人の割合が平成29年度（86.0%）と比べて減少の傾向がみられる。

⑥ 木材利用を推進する支援



木材利用を推進する支援の継続について、「このまま続けた方がよい」（55.2%）と「もっと行った方がよい」（17.2%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が72.5%となっている。

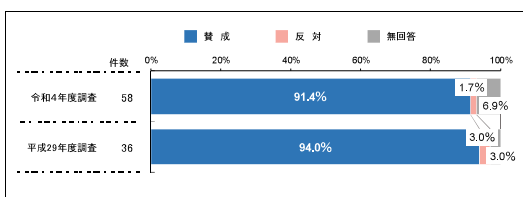
※この項目は、令和4年度から追加した。

法人-13

Ⅲ 「あい森と緑づくり事業」の今後について

(1) 「あい森と緑づくり事業」の継続

問5 2024（令和6）年度以降も「あい森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取組を行うことについてどのように思いますか。

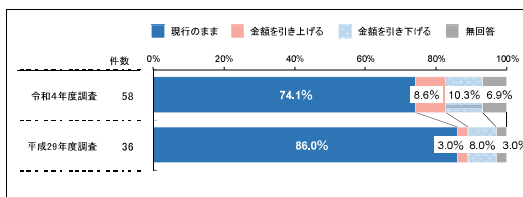


「あい森と緑づくり事業」の継続について、「賛成」と答えた法人の割合が91.4%であったのに対し、「反対」と答えた法人の割合は1.7%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「賛成」と答えた法人の割合が9割を超えて高くなっている。

(2) 「あい森と緑づくり税」の負担額

問6 「あい森と緑づくり税」を2024（令和6）年度以降も継続する場合、法人の方の負担はどの程度が適当だと思いますか。（※現在は法人県民税均等割額に5%を加算。1,000～40,000円/年）



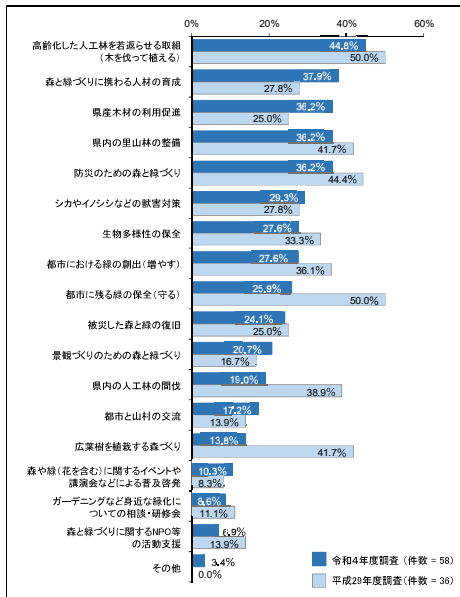
「あい森と緑づくり税」の負担額について、「現行のまま」と答えた法人の割合が74.1%と最も高く、続いて「金額を引き下げる」（10.3%）、「金額を引き上げる」（8.6%）の順となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「現行のまま」と答えた法人の割合が最も高くなっている。

法人-14

(3) 「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組

問7 「あいち森と緑づくり事業」を2024（令和6）年度以降も継続する場合、どのような取組を行えばよいと思いますか。（複数回答可）



「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組について、「高齢化した人工林を若返らせる取組（木を伐って植える）」と答えた法人の割合が44.8%と最も高く、続いて「森と緑づくりに携わる人材の育成」（37.9%）、「県産木材の利用促進」、「県内の里山林の整備」、「防災のための森と緑づくり」（3項目とも36.2%）の順となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「高齢化した人工林を若返らせる取組（木を伐って植える）」と答えた法人の割合が最も高くなっている。

目次

あいち森と緑づくり事業 アンケート結果

<市町村アンケート>

令和5年1月

愛知県

調査概要

1 調査の概要	2
2 この報告書のみかた	3

調査結果

1 森林整備全般 市町村アンケート	6
(1) 今後の事業継続	6
(2) 今後の事業のあり方	7
2 人工林整備事業 市町村アンケート	8
(1) 事業実施による効果	8
(2) 事業内容の満足度(間伐)	9
(3) 今後の事業継続(間伐)	9
(4) 事業内容の満足度(花粉症対策苗木の植栽、獣害防止対策)	10
(5) 今後の事業継続(花粉症対策苗木の植栽、獣害防止対策)	10
3 里山林整備事業 市町村アンケート(事業実施市町村)	11
(1) 事業実施による効果	11
(2) 事業内容の満足度	13
(3) 事業実施による効果	14
(4) 事業内容の満足度	15
(5) 事業実施による波及効果	15
(6) 事業の不採択の有無	17
(7) 事業の不採択の理由	18
(8) 事業推進にあたっての障害	19
(9) 今後の事業継続	20
4 里山林整備事業 市町村アンケート(事業未実施市町村)	21
(1) 事業を実施していない理由	21
(2) 事業の不採択の有無	22
(3) 事業の不採択の理由	23
(4) 今後の事業継続	24
(5) 今後の事業実施予定	24

5 都市緑化推進事業 市町村アンケート	25
(1) 事業実施による都市の緑の変化	25
(2) 事業実施による効果(直接的効果)	26
(3) 事業実施による効果(間接的効果)	27
(4) 事業内容の満足度	28
(5) 今後の事業継続	30
(6) 今後の事業のあり方	31
6 環境活動・学習推進事業 市町村アンケート	32
(1) 事業の認知度	32
(2) 事業の活用状況	33
(3) 今後の事業活用の意向	33
(4) 事業実施団体の把握状況	34
(5) 事業実施団体との関わりの有無	34
(6) 事業実施団体との具体的な関わり	35
(7) 事業実施団体からの要望の有無	36
(8) 環境活動・環境学習に関する独自施策	37
(9) 今後の事業継続	38
7 木の香る都市づくり事業 市町村アンケート	39
(1) 事業の認知度	39
(2) 今後の事業継続	39

調査票

調査概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、市町村の事業に対する有効性・満足度・今後の期待感等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) アンケート調査の項目と回収結果

調査の項目	送付数	回答数	回答率
1 森林整備全般	35	28	80.0%
2 人工林整備事業	16	9	56.3%
3 里山林整備事業（事業実施市町村）	23	17	73.9%
4 里山林整備事業（事業未実施市町村）	9	9	100%
5 都市緑化推進事業	54	43	79.6%
6 環境活動・学習推進事業	54	45	83.3%
7 木の香る都市づくり事業	54	44	81.5%
計	245	195	79.6%

(3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県
- ② 調査対象 県内の54市町村
- ③ 標本数 245
- ④ 抽出方法 全数調査
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 令和4年10月21日～11月4日

(4) 調査委託先

株式会社中部タイム・エージェント 名古屋事務所

市町村-2

2 この報告書のみかた

- 回答率(%)は、小数第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。また、小計についても同様に異なる場合がある。
- 1市町村に複数の回答を認めたものについては、その項目を選んだ市町村が回答者全体に占める割合を表しており、通常その比率の合計は100%を超える。
- 調査結果については、統計上多少の誤差(標本誤差)が生じることがあり、調査結果をみる場合には、次のような一定の幅をもたせてみる必要がある。
- 標本誤差は、次の式で算出される。

$$\text{標本誤差}(\%) = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$$

P: 回答率(%)
N: 回答者数(市町村)

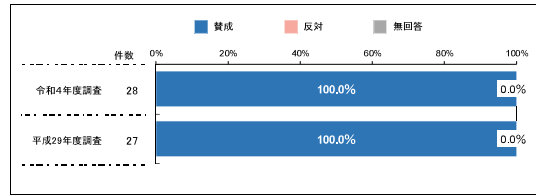
市町村-3

1 森林整備全般 市町村アンケート

送付数：35/回答数：28 回答率：80.0%

(1) 今後の事業継続

問1 森林が有する公益的機能の維持増進のため、2024（令和6）年度以降も「あいち森と緑づくり事業」を継続して、森林、里山林の適正な整備及び保全に関する取組を行うことについてどのように思いますか。



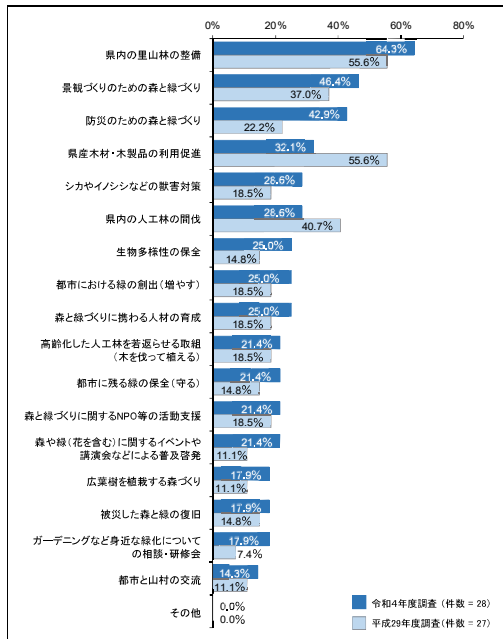
今後の事業継続について、「賛成」と答えた市町村の割合が100.0%となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「賛成」と答えた市町村の割合が100.0%となっている。

調査結果

市町村-6

(2) 今後の事業のあり方

問2 問1で「1. 賛成」と答えた市町村にお聞きします。「あいち森と緑づくり事業」を2024（令和6）年度以降も継続する場合、どのような取組が適当だと思いますか。（複数回答可）



今後の事業のあり方について、「県内の里山林の整備」と答えた市町村の割合が64.3%と最も高く、続いて「景観づくりのための森と緑づくり」(46.4%)、「防災のための森と緑づくり」(42.9%)の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「県内の里山林の整備」と答えた市町村の割合が最も高くなっている。

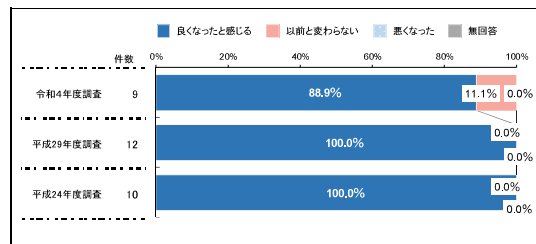
市町村-7

2 人工林整備事業 市町村アンケート

送付数：16/回答数：9 回答率：56.3%

(1) 事業実施による効果

問1 あいち森と緑づくり人工林整備事業で間伐を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか。

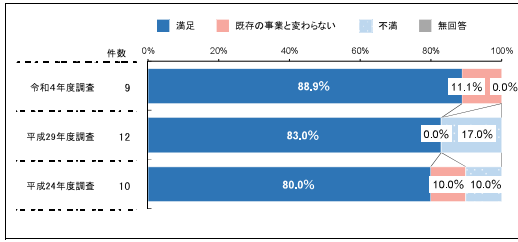


事業実施による効果について、「良くなったと感じる」と答えた市町村の割合が88.9%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(11.1%)の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「良くなったと感じる」と答えた市町村の割合が高くなっている。

市町村-8

(2) 事業内容の満足度（間伐）

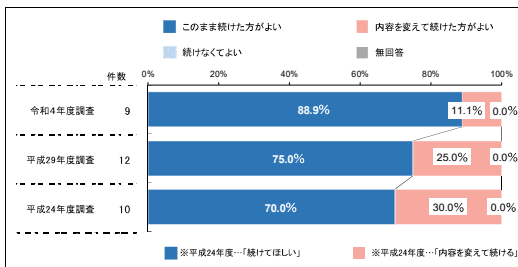
問2 あいち森と緑づくり人工林整備事業で間伐した内容は、貴市町村の森林にとって満足できる事業ですか。



事業内容（間伐）について、「満足」と答えた市町村の割合が88.9%と最も高く、続いて「既存の事業と変わらない」（11.1%）の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「満足」と答えた市町村の割合が高くなっている。

(3) 今後の事業継続（間伐）

問4 あいち森と緑づくり人工林整備事業の間伐を2024（令和6）年度以降も続けていった方がよいと思いますか。

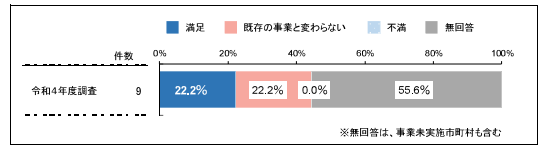


今後の事業継続（間伐）について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が88.9%と最も高く、続いて「内容を変えて続けた方がよい」（11.1%）の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が高くなっている。

市町村-9

(4) 事業内容の満足度（花粉症対策苗木の植栽、獣害防止対策）

問6 あいち森と緑づくり事業で花粉症対策苗木の植栽と獣害の防止対策の内容は、貴市町村の森林にとって満足できる事業ですか。

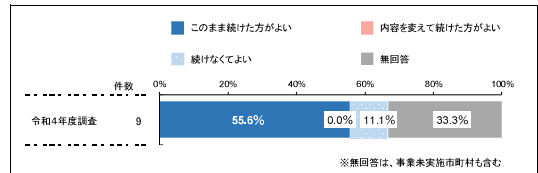


事業内容（花粉症対策苗木の植栽、獣害防止対策）について、「満足」、「既存の事業と変わらない」と答えた市町村の割合はともに22.2%となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

(5) 今後の事業継続（花粉症対策苗木の植栽、獣害防止対策）

問8 あいち森と緑づくり事業で花粉症対策苗木の植栽と獣害対策を2024（令和6）年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続（花粉症対策苗木の植栽、獣害防止対策）について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が55.6%と最も高く、続いて「続けなくてよい」（11.1%）の順となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

市町村-10

3 里山林整備事業 市町村アンケート（事業実施市町村）

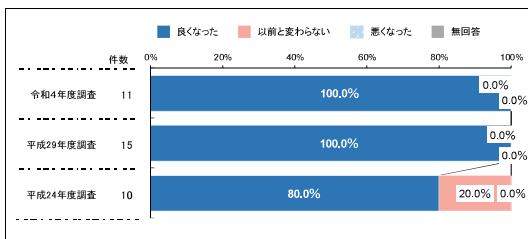
送付数：23/回答数：17 回答率：73.9%

(1) 事業実施による効果

（※第1期（2009年～2018年）あいち森と緑づくり事業で実施した3種類の里山林整備事業のうち、貴市町村で実施した事業についてご回答ください。）

問1 第1期で次の里山林整備事業を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか。

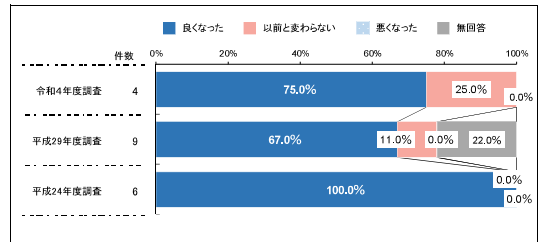
①提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について



事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が100.0%となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「良くなった」と答えた市町村の割合が高くなっている。

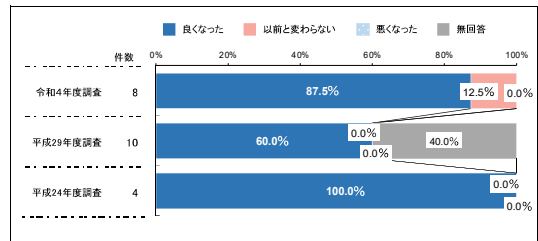
市町村-11

②里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について



事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が75.0%と最も高く、続いて「以前と変わらない」（25.0%）の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「良くなった」と答えた市町村の割合が高くなっている。

③里山林再生整備事業（県営事業）について



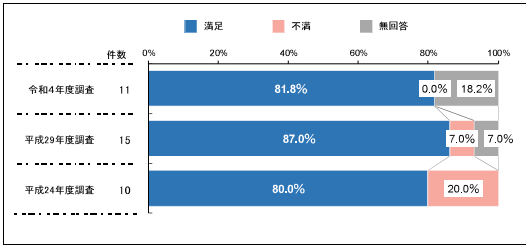
事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が87.5%と最も高く、続いて「以前と変わらない」（12.5%）の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「良くなった」と答えた市町村の割合が高くなっている。

市町村-12

(2) 事業内容の満足度

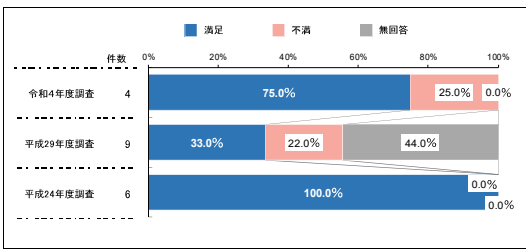
問2 第1期で実施した里山林整備事業は、貴市町村の里山林にとって満足できる内容でしたか。

①提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)について



事業内容について、「満足」と答えた市町村の割合が81.8%となっている。
過去の調査と比較すると、いずれの調査も「満足」と答えた市町村の割合が高くなっている。

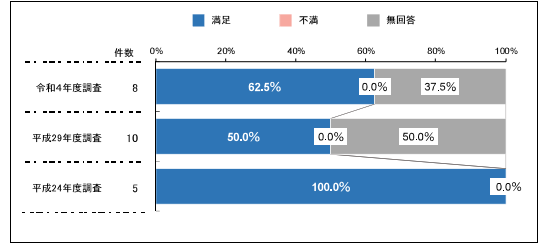
②里山林健全化整備事業(市町村交付金事業)について



事業内容について、「満足」と答えた市町村の割合が75.0%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合は25.0%となっている。
過去の調査と比較すると、いずれの調査も「満足」と答えた市町村の割合が高くなっている。

市町村-13

③里山林再生整備事業(県営事業)について

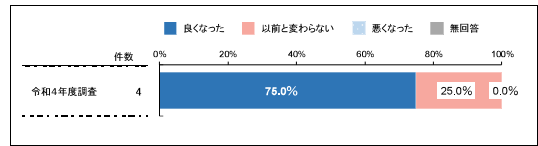


事業内容について、「満足」と答えた市町村の割合が62.5%となっている。
過去の調査と比較すると、いずれの調査も「満足」と答えた市町村の割合が高くなっている。

(3) 事業実施による効果

(※第2期(2019年~2028年)あいち森と緑づくり事業で実施した提案型里山林整備事業についてご回答ください。)

問3 第2期で提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか。



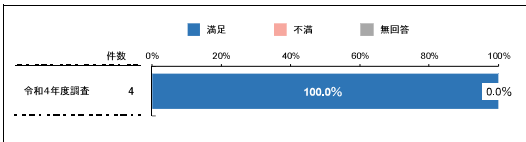
事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が75.0%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(25.0%)の順となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

市町村-14

(4) 事業内容の満足度

問4 第2期で実施した提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)は、貴市町村の里山林にとって満足できる内容でしたか。



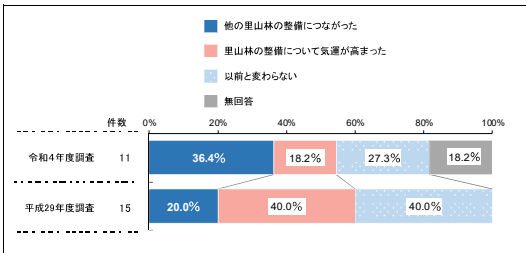
事業内容について、「満足」と答えた市町村の割合が100.0%となっている。
※この項目は、令和4年度から追加した。

(5) 事業実施による波及効果

(※第1期と第2期を通じてあいち森と緑づくり事業で実施した里山林整備事業についてご回答ください。)

問5 第1期と第2期を通じて里山林整備事業の実施後、貴市町村内の他の里山林の保全・活用に対する波及効果があったと思いますか。

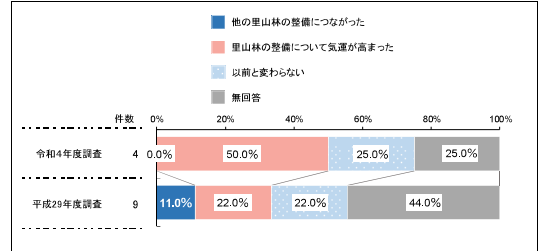
①第1期と第2期を通じて提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)について



事業実施による波及効果について、「他の里山林の整備につながった」(36.4%)と「里山林の整備について気運が高まった」(18.2%)を合わせた「効果があった」と答えた市町村の割合が54.6%であったのに対し、「以前と変わらない」と答えた市町村の割合は27.3%となっている。
過去の調査と比較すると、「他の里山林の整備につながった」と答えた市町村の割合が平成29年度(20.0%)と比べて増加の傾向がみられる。

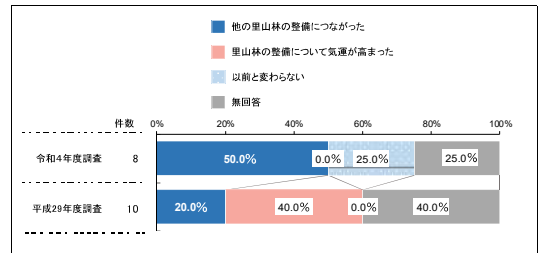
市町村-15

②第1期の里山林健全化整備事業(市町村交付金事業)について



事業実施による波及効果について、「里山林の整備について気運が高まった」と答えた市町村の割合が50.0%であったのに対し、「以前と変わらない」と答えた市町村の割合は25.0%となっている。
過去の調査と比較すると、いずれの調査も「里山林の整備について気運が高まった」と答えた市町村の割合が高くなっている。

③第1期の里山林再生整備事業(県営事業)について

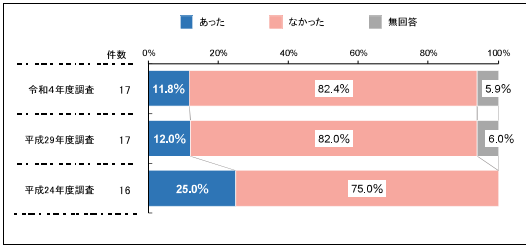


事業実施による波及効果について、「他の里山林の整備につながった」と答えた市町村の割合が50.0%であったのに対し、「以前と変わらない」と答えた市町村の割合は25.0%となっている。
過去の調査と比較すると、「他の里山林の整備につながった」と答えた市町村の割合が平成29年度(20.0%)と比べて増加の傾向がみられる。

市町村-16

(6) 事業の不採択の有無

問6-1 地域の方々から、第2期の提案型里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。

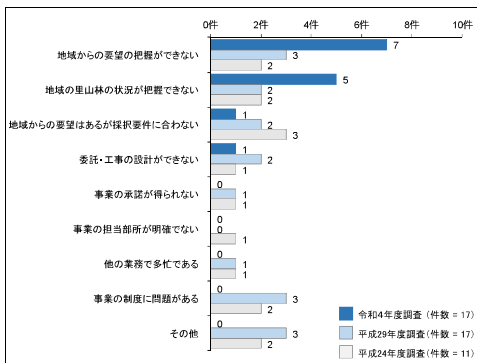


事業の不採択について、「あった」と答えた市町村の割合が11.8%であったのに対し、「なかった」と答えた市町村の割合は82.4%となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「なかった」と答えた市町村の割合が高くなっている。

市町村-17

(8) 事業推進にあたっての障害

問7 提案型里山林整備事業を進めるにあたって、支障になっていることがありますか。

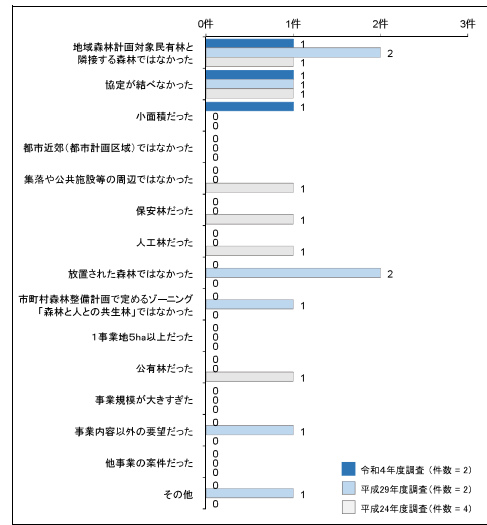


事業推進にあたっての障害について、「地域からの要望の把握ができない」と答えた市町村の件数が7件と最も多く、続いて「地域の里山林の状況が把握できない」(5件)、「地域からの要望はあるが採択要件に合わない」、「委託・工事の設計ができない」(1件)の順となっている。過去の調査と比較すると、平成29年度、令和4年度では「地域からの要望の把握ができない」と答えた市町村の件数が最も多くなっている。

市町村-19

(7) 事業の不採択の理由

問6-2 (問6-1で「1. あった」と答えた市町村に) その理由は何ですか。(複数選択可)

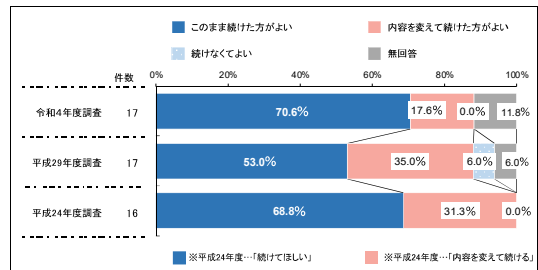


事業の不採択の理由について、「地域森林計画対象民有林と隣接する森林ではなかった」、「協定が結ばなかった」、「小面積だった」と答えた市町村の件数がそれぞれ1件となっている。

市町村-18

(9) 今後の事業継続

問8 提案型里山林整備事業を、2024(令和6)年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が70.6%と最も高く、続いて「内容を変えて続けた方がよい」(17.6%)の順となっている。過去の調査と比較すると、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が平成29年度(53.0%)と比べて増加の傾向がみられる。

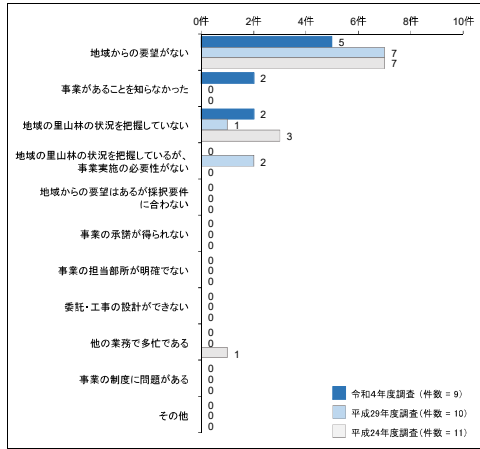
市町村-20

4 里山林整備事業 市町村アンケート (事業未実施市町村)

送付数：9/回答数：9 回答率：100%

(1) 事業を実施していない理由

問1 貴市町村で、提案型里山林整備事業を実施していない理由を教えてください。



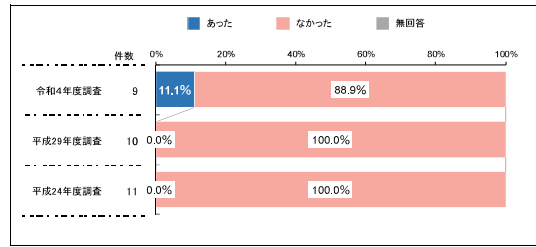
事業を実施していない理由について、「地域からの要望がない」と答えた市町村の件数が5件と最も多く、続いて「事業があることを知らなかった」、「地域の里山林の状況を把握していない」(2件)の順となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「地域からの要望がない」と答えた市町村の件数が最も多くなっている。

市町村-21

(2) 事業の不採択の有無

問2-1 地域住民等からの、提案型里山林整備事業実施に向けた相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。



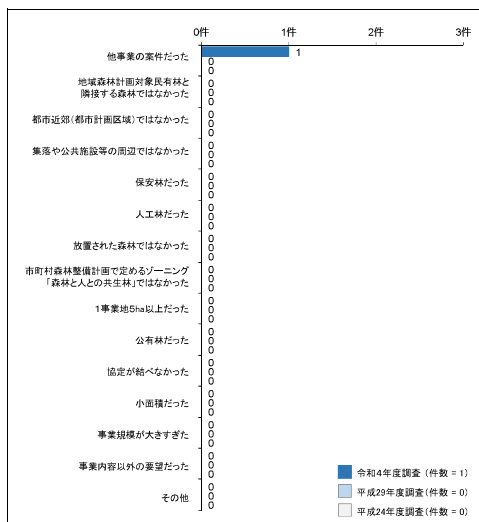
事業の不採択について、「あった」と答えた市町村の割合が11.1%であったのに対し、「なかった」と答えた市町村の割合は88.9%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「なかった」と答えた市町村の割合が高くなっている。

市町村-22

(3) 事業の不採択の理由

問2-2 (問2-1で「1. あった」と答えた市町村)にその理由は何ですか。(複数選択可)

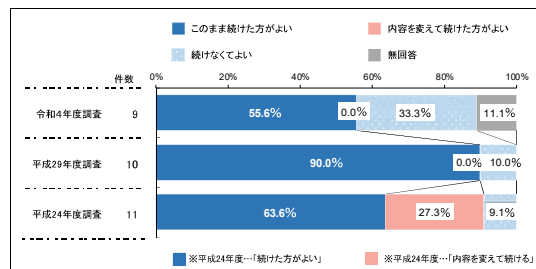


事業の不採択の理由について、「他事業の案件だった」と答えた市町村が1件となっている。

市町村-23

(4) 今後の事業継続

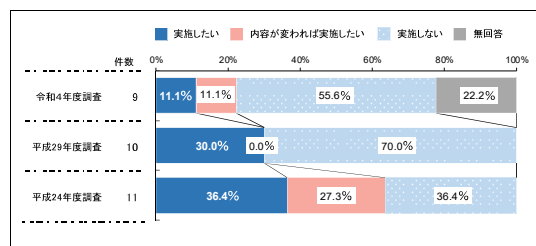
問3 提案型里山林整備事業を、2024(令和6)年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が55.6%であったのに対し、「続けてよい」と答えた市町村の割合は33.3%となっている。

(5) 今後の事業実施予定

問4 あいち森と緑づくり事業による提案型里山林整備事業を、2024(令和6)年度以降も続けていった場合、貴市町村では事業を実施したいと思いますか。



今後の事業実施について、「実施しない」と答えた市町村の割合が55.6%と最も高く、続いて「実施したい」、「内容が変われば実施したい」(11.1%)となっている。

市町村-24

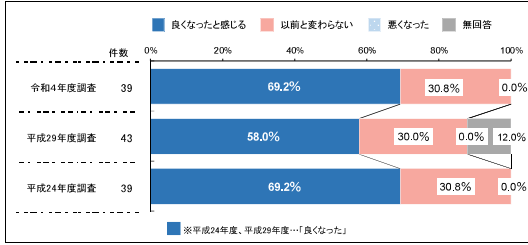
5 都市緑化推進事業 市町村アンケート

送付数：54/回答数：43 回答率：79.6%

(※問1~4は、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を実施したことがある市町村にお聞きします。)

(1) 事業実施による都市の緑の変化

問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を実施した結果、貴市町村の都市の緑が良くなったと感じますか。

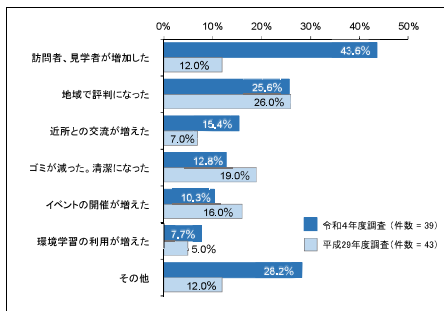


事業実施による都市の緑の変化について、「良くなったと感じる」と答えた市町村の割合が69.2%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(30.8%)となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「良くなった」と感じている市町村の割合が高くなっている。

市町村-25

(3) 事業実施による効果（間接的効果）

問3 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施箇所において、良かったことはありますか。(複数回答可)

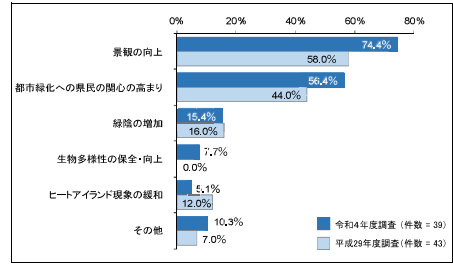


事業実施による効果(間接的効果)について、「訪問者、見学者が増加した」と答えた市町村の割合が43.6%と最も高く、続いて「地域で評判になった」(25.6%)、「近所との交流が増えた」(15.4%)の順となっている。過去の調査と比較すると、「訪問者、見学者が増加した」と答えた市町村の割合が平成29年度(12.0%)と比べて大きな増加の傾向がみられる。

市町村-27

(2) 事業実施による効果（直接的効果）

問2 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。(複数回答可)



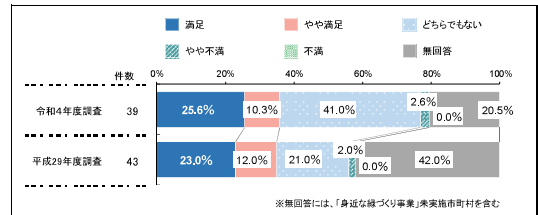
事業実施による効果(直接的効果)について、「景観の向上」と答えた市町村の割合が74.4%と最も高く、続いて「都市緑化への県民の関心の高まり」(56.4%)、「緑陰の増加」(15.4%)の順となっている。過去の調査と比較すると、いずれの調査も「景観の向上」と答えた市町村の割合が最も高くなっている。

市町村-26

(4) 事業内容の満足度

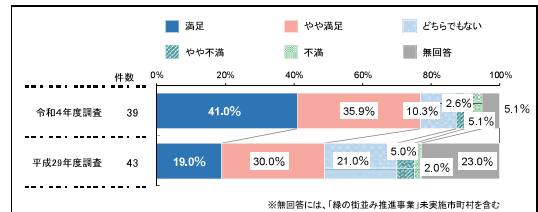
問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、貴市町村にとって満足できる事業ですか。

①身近な緑づくり事業(都市における樹林地の保全・創出を図る事業)



事業内容について、「満足」(25.6%)と「やや満足」(10.3%)を合わせた「満足」と答えた市町村の割合が35.9%であったのに対し、「やや不満」と答えた市町村の割合は2.6%となっている。過去の調査と比較すると、「満足」と答えた市町村の割合が3割程度となっている。

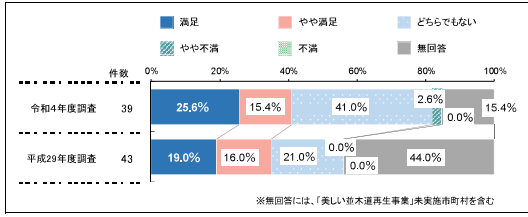
②緑の街並み推進事業(私有地の緑化を推進する事業)



事業内容について、「満足」(41.0%)と「やや満足」(35.9%)を合わせた「満足」と答えた市町村の割合が76.9%であったのに対し、「やや不満」(2.6%)と「不満」(5.1%)を合わせた「不満」と答えた市町村の割合は7.7%となっている。過去の調査と比較すると、「満足」と答えた市町村の割合が平成29年度(49.0%)と比べて増加の傾向がみられる。

市町村-28

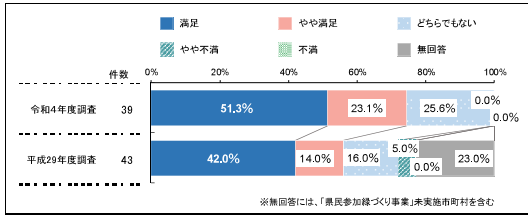
③美しい並木道再生事業（街路樹の植替えにより美しい並木道を再生する事業）



事業内容について、「満足」（25.6%）と「やや満足」（15.4%）を合わせた“満足”と答えた市町村の割合が41.0%であったのに対し、「やや不満」と答えた市町村の割合は2.6%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も“満足”と答えた市町村の割合が3〜4割程度となっている。

④県民参加緑づくり事業（県民参加での緑化活動等を推進する事業）



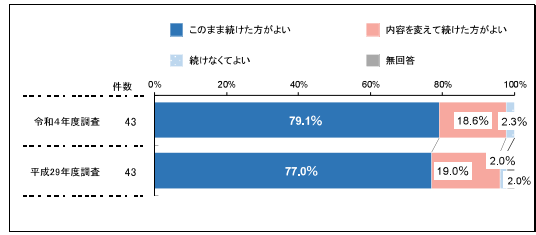
事業内容について、「満足」（51.3%）と「やや満足」（23.1%）を合わせた“満足”と答えた市町村の割合が74.4%となっている。

過去の調査と比較すると、“満足”と答えた市町村の割合が平成29年度（56.0%）と比べて増加の傾向がみられる。

市町村-29

(5) 今後の事業継続

問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を2024（令和6）年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



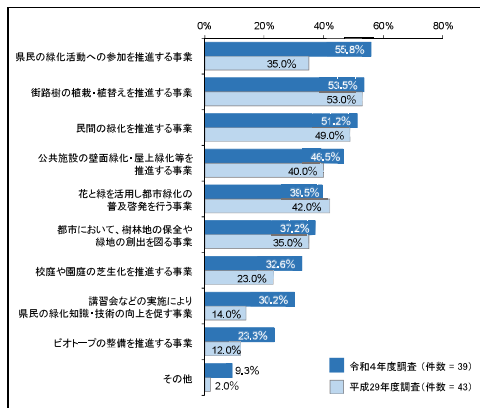
今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が79.1%と最も高く、続いて「内容をえて続けた方がよい」（18.6%）、「続けなくてよい」（2.3%）の順となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が7割を超えて高くなっている。

市町村-30

(6) 今後の事業のあり方

問6 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業では、どのような事業を行うことができれば良いと思いますか。（複数回答可）



今後の事業のあり方について、「県民の緑化活動への参加を推進する事業」と答えた市町村の割合が55.8%と最も高く、続いて「街路樹の植栽・植替えを推進する事業」（53.5%）、「民間の緑化を推進する事業」（51.2%）の順となっている。

過去の調査と比較すると、「県民の緑化活動への参加を推進する事業」と答えた市町村の割合が平成29年度（35.0%）と比べて増加の傾向がみられる。

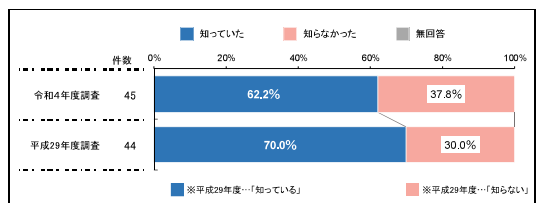
市町村-31

6 環境活動・学習推進事業 市町村アンケート

送付数：54/回答数：45 回答率：83.3%

(1) 事業の認知度

問1 あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業をご存じでしたか。



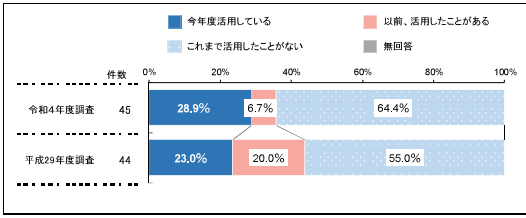
事業について、「知っていた」と答えた市町村の割合が62.2%であったのに対し、「知らなかった」と答えた市町村の割合は37.8%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「知っていた」と回答した市町村の割合が高くなっている。

市町村-32

(2) 事業の活用状況

問2 貴市町村は、交付団体としてこの事業を活用していますか。

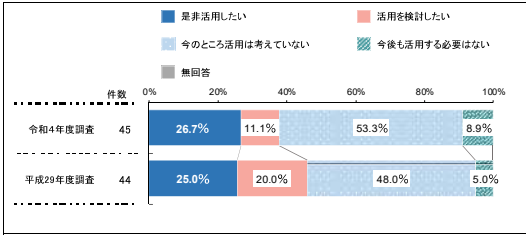


事業の活用状況について、「これまで活用したことがない」と答えた市町村の割合が64.4%と最も高く、続いて「今年度活用している」(28.9%)、「以前、活用したことがある」(6.7%)の順となっている。

過去の調査と比較すると、「これまでに活用したことがない」と答えた市町村の割合が平成29年度(55.0%)と比べて増加の傾向がみられる。

(3) 今後の事業活用の意向

問3 貴市町村(環境部局)は、交付団体として今後この事業を活用したいと考えますか。



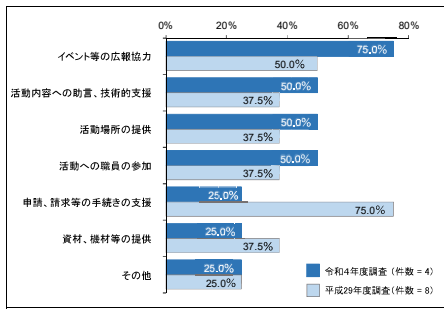
今後の事業活用について、「是非活用したい」(26.7%)と「活用を検討したい」(11.1%)を合わせた「活用を考えている」と答えた市町村の割合が37.8%であったのに対し、「今のところ活用は考えていない」(53.3%)と「今後も活用する必要はない」(8.9%)を合わせた「活用を考えていない」と答えた市町村の割合は62.2%となっている。

過去の調査と比較すると、「活用を考えていない」と答えた市町村の割合は平成29年度(53.0%)と比べて増加の傾向がみられる。

市町村-33

(6) 事業実施団体との具体的な関わり

問7 問6で「1. ある」と回答された市町村にお聞きします。具体的にどのような関わりがありますか。(該当するもの全てに○)



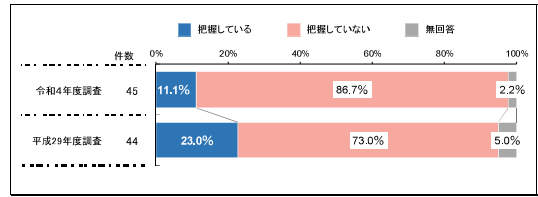
事業実施団体との具体的な関わりについて、「イベント等の広報協力」と答えた市町村の割合が75.0%と最も高く、続いて「活動内容への助言、技術的支援」、「活動場所の提供」、「活動への職員の参加」(3項目とも50.0%)の順となっている。

過去の調査と比較すると、「申請、請求等の手続きの支援」と答えた市町村の割合が平成29年度(75.0%)と比べて大きな減少の傾向がみられる。

市町村-35

(4) 事業実施団体の把握状況

問5 貴市町村内においてこの事業を活用しているNPO等を把握していますか。

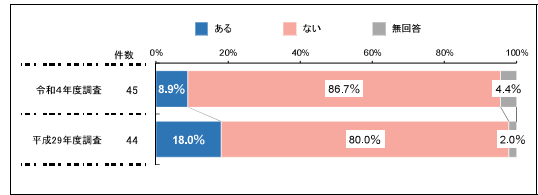


事業実施団体について、「把握している」と答えた市町村の割合が11.1%であったのに対し、「把握していない」と答えた市町村の割合は86.7%となっている。

過去の調査と比較すると、「把握している」と答えた市町村の割合は平成29年度と比べて減少の傾向がみられる。

(5) 事業実施団体との関わりの有無

問6 貴市町村(環境部局)は、この事業を活用しているNPO等との関わりはありますか。



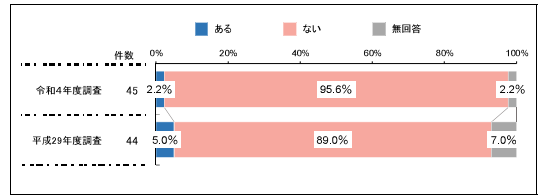
事業実施団体との関わりについて、「ある」と答えた市町村の割合が8.9%であったのに対し、「ない」と答えた市町村の割合は86.7%となっている。

過去の調査と比較すると、「ある」と答えた市町村の割合は平成29年度と比べて減少の傾向がみられる。

市町村-34

(7) 事業実施団体からの要望の有無

問8 この事業について、NPO等から要望等を受けたことがありますか。ある場合は内容を含め具体的にお願いします。



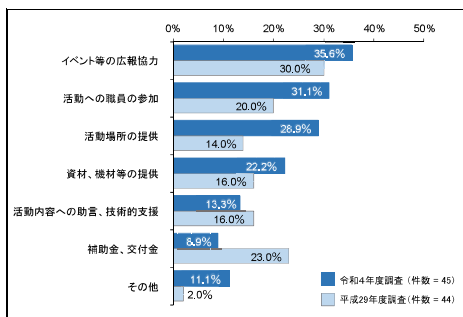
事業実施団体からの要望について、「ある」と答えた市町村の割合が2.2%であったのに対し、「ない」と答えた市町村の割合は95.6%となっている。

過去の調査と比較すると、いずれの調査も「ない」と答えた市町村の割合が非常に高くなっている。

市町村-36

(8) 環境活動・環境学習に関する独自施策

問9 環境活動・環境学習に関して、貴市町村の施策で独自にNPO等に対して行っているものを教えてください。

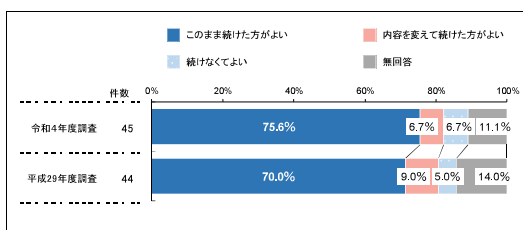


環境活動・環境学習に関する独自施策について、「イベント等の広報協力」と答えた市町村の割合が35.6%と最も高く、続いて「活動への職員の参加」(31.1%)、「活動場所の提供」(28.9%)の順となっている。
過去の調査と比較すると、いずれの調査も「イベント等の広報協力」と答えた市町村の割合が最も高くなっている。

市町村-37

(9) 今後の事業継続

問10 あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進の取組を2024（令和6）年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が76.6%と最も高く、続いて「内容を変えて続けた方がよい」、「続けなくてよい」(2項目とも6.7%)となっている。
過去の調査と比較すると、いずれの調査も「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合は7割を超えて高くなっている。

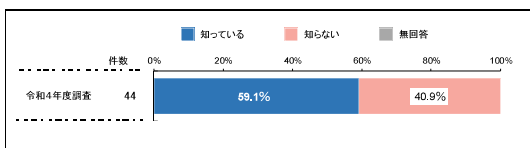
市町村-38

7 木の香る都市づくり事業 市町村アンケート

送付数：54/回答数：44 回答率：81.5%

(1) 事業の認知度

問1 木の香る都市づくり事業をご存じですか。

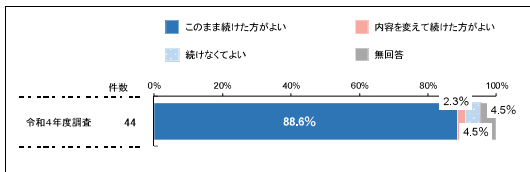


事業について、「知っている」と答えた市町村の割合が59.1%であったのに対し、「知らない」と答えた市町村の割合は40.9%となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

(2) 今後の事業継続

問2 木の香る都市づくり事業を2024（令和6）年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が88.6%と最も高く、続いて「続けなくてよい」(4.5%)、「内容を変えて続けた方がよい」(2.3%)の順となっている。

※この項目は、令和4年度から追加した。

市町村-39